

多賀の自然環境 ー発掘された180万年の多賀ー

平成27年9月12日(土)～9月27日(日) あけぼのパーク多賀 ギャラリー



琵琶湖博物館へ出張中のアケボノゾウはパネルで紹介

本年度 多賀町立博物館が取り組む事業「アケボノゾウからたどる今とむかしの環境」の企画展第2弾は多賀町古代ゾウ発掘プロジェクトの企画展です。ぜひお越しください。

「20年前のあのアケボノゾウ全身骨格化石発掘の感動をもう一度」と。平成25年度から始まった多賀町古代ゾウ発掘プロジェクトの3年間にわたる発掘調査によって、しだいに180万年前の多賀の自然環境がわかってきました。現在とはまるでちがう太古の多賀のようすを語る化石から当時をふりかえりましょう。琵琶湖博物館からきた大きなトンボメガネサナエ も、そばで展示を見つめています。



平成27年春の第三次発掘の大きなパネルから展示は始まります。



ケイソウ化石 地層と堆積 四手火山灰層 発掘プロジェクト紹介



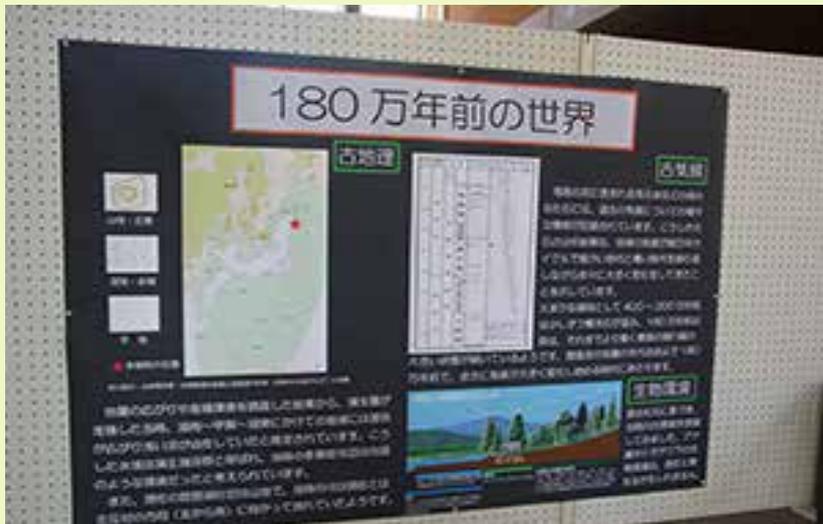
琵琶湖にすんでいた魚の化石(いんとう歯)



多賀の足跡化石の特徴は・・・



脊椎動物化石(シカやカメ) 昆虫化石 花粉化石 植物化石



約90名がとり組んだ発掘調査で地層がくわしく調べられ地層に沿って多くの化石が採集され、それらを研究をすすめることでアケボノゾウがいたところ(約180万年前)の太古の多賀の豊かな環境がだんだんとわかってきました。



貝化石の種類と特徴



小さな小さな昆虫化石
目で見えないが環境を語る



シカの骨の化石も
出てきました



たくさんとれる
ヒシの美化石とその環境



来年の春からは第4次発掘調査をして、22年前にアケボノゾウが見つかった地層そのものを掘り進めます。専門班や琵琶湖博物館のはしかけの方、発掘お助け隊の方とともに、地元の多賀町からも小学生・中学生・高校生・おとなでつくる多賀町発掘隊がもっともっと参加して発掘を盛り上げてほしいです。また、今年の11月7日(土)には発掘を核にしたツーリズムや町おこしの可能性を語る町制60年記念のイベントがここあけぼのパーク多賀であります。夢を語りましょう!!

ぜひ、あけぼのパーク多賀 多賀町立博物館までお出かけください。